

一般送配電事業者の インバランス収支の状況について

平成30年5月16日（水）



電力・ガス取引監視等委員会
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

本日の報告事項

- 一般送配電事業者のインバランス収支（平成30年2月までの暫定値）を報告する。
- インバランス料金算定方法が変更された平成29年10月以降の一般送配電事業者のインバランス収支は、2社が黒字、8社は引き続き赤字であった。
- 10社合計の月間赤字額は、6割程度に縮小。（約27億円→約16億円）

平成29年4月～平成30年2月分インバランス収支

単位:百万円	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
4～9月平均	-163	-141	-743	-283	-11	-840	-254	-141	-122	-8	-2,705
10～2月平均	-126	-179	-584	431	30	-797	-249	-10	-117	-10	-1,611
4～2月合計	-1,610	-1,739	-7,380	457	86	-9,024	-2,770	-900	-1,320	-100	-24,300

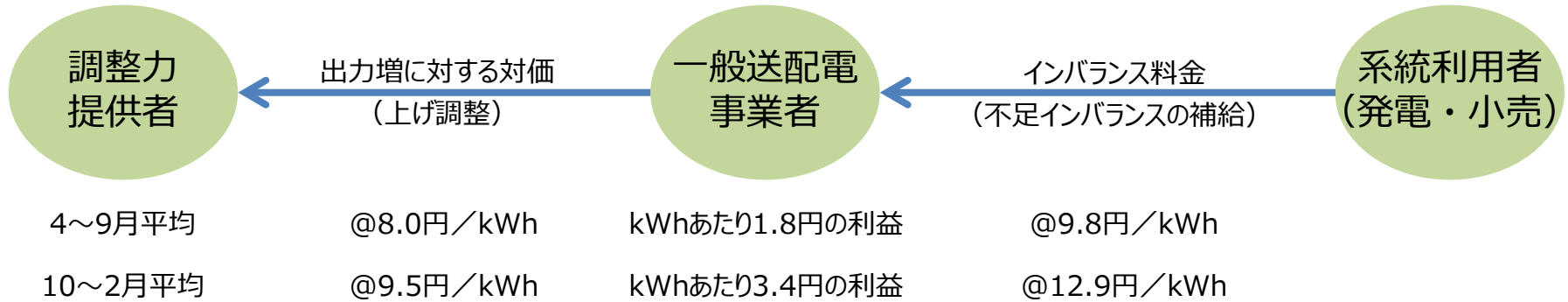
※インバランス収支：一般送配電事業者による試算値であり、確定した値ではない。

インバランスの精算と調整力の精算の単価差（全国平均の推計値）

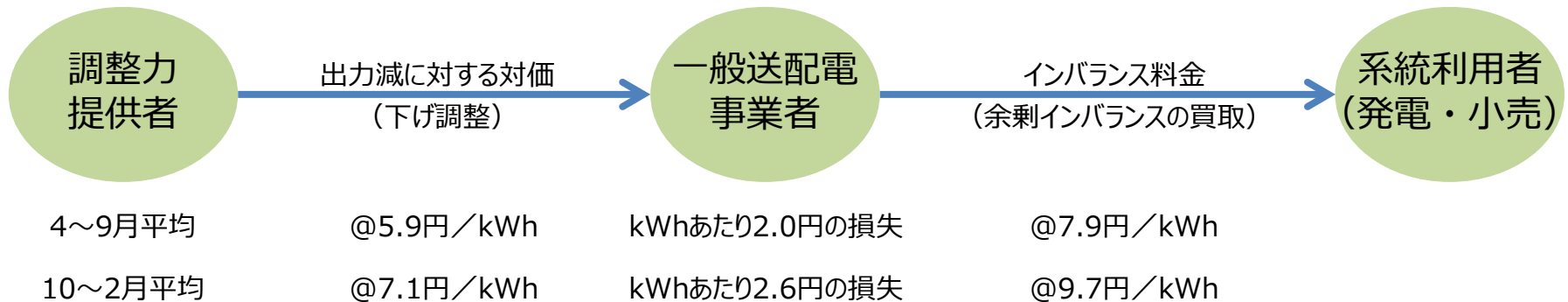
- 不足インバランスに比べ、多くの余剰インバランスが発生しており、また、余剰インバランスの単価については、送配電事業者がインバランスを発生させた者に支払う単価が調整力提供者から支払われる単価より高く、引き続き、損失が発生する状況となっている。

（不足インバランス発生の場合）

← 費用の流れ



（余剰インバランス発生の場合）



※ここで示した単価は以下から計算した概算値であり、一般送配電事業者による試算値とは一致しない。

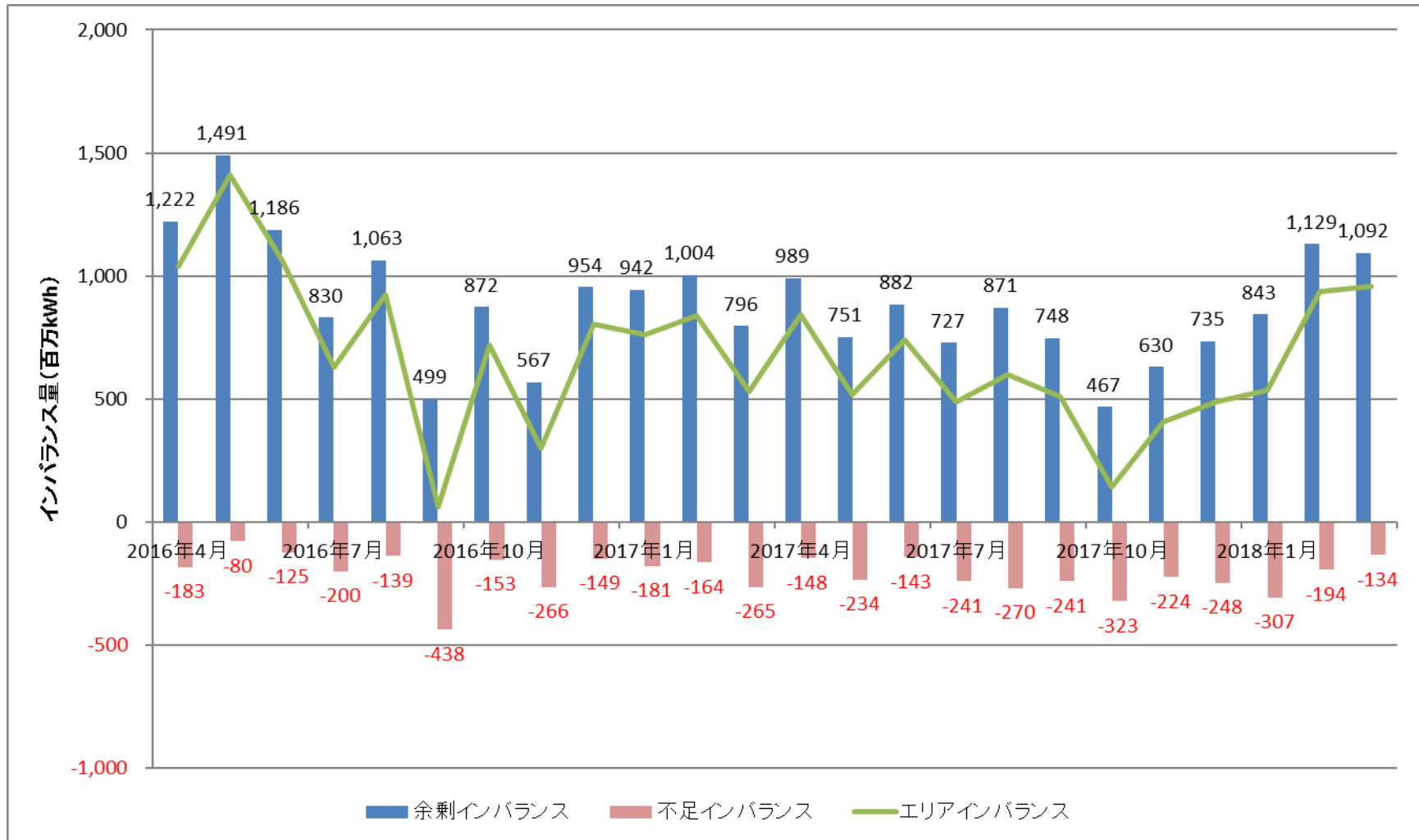
・余剰買取・不足補給単価は、JEPX公表値（α確報値×スポット・時間前平均価格(2017/4/1~2018/2/28の平均値)）より

・上げ調整・下げ調整単価は、電力・ガス取引監視等委員会公表値（一般送配電事業者が指令を出した調整力の電力量価格(2017/4/1~2018/2/23の10社加重平均)）より

参考：エリアインバランスの状況（全国）

平成28年4月～平成30年3月

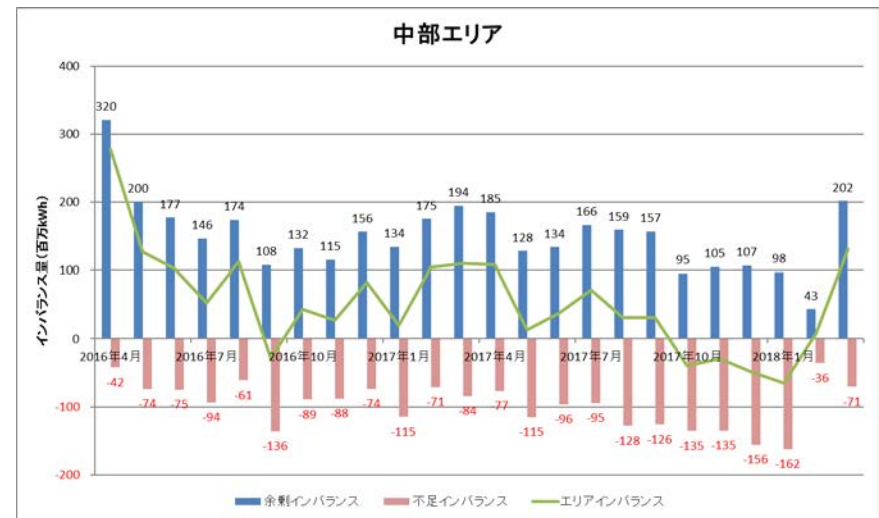
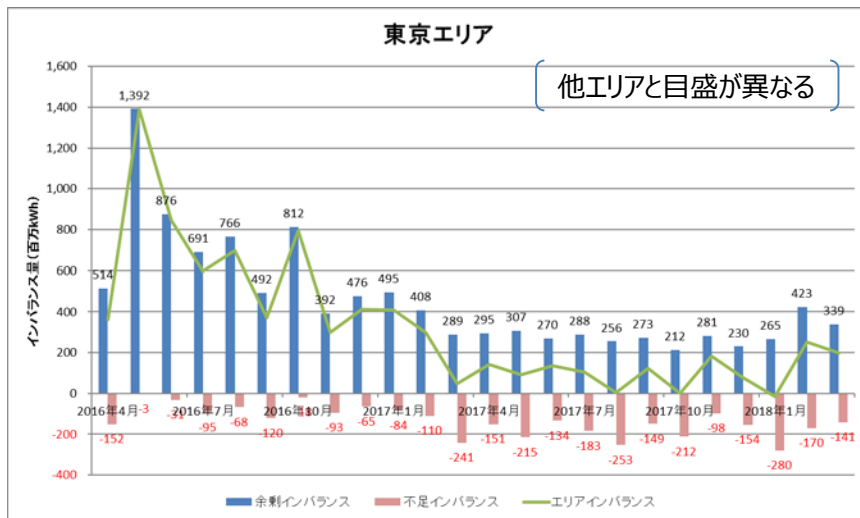
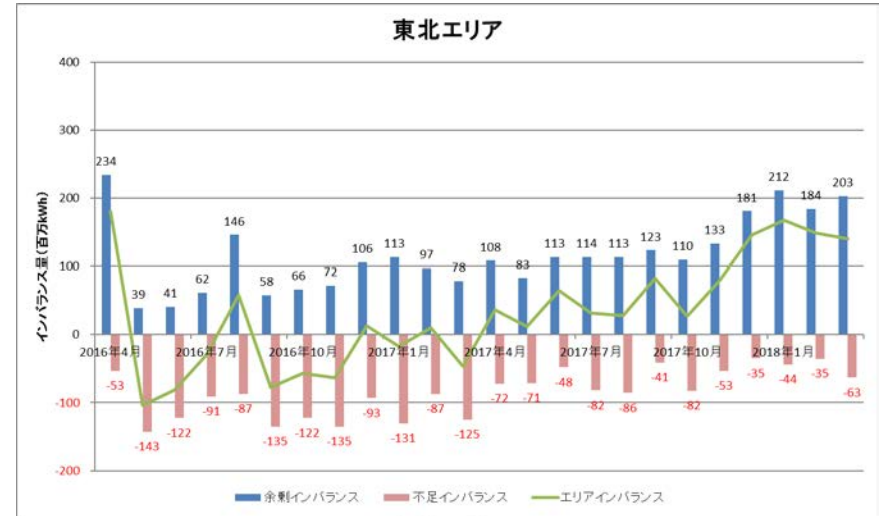
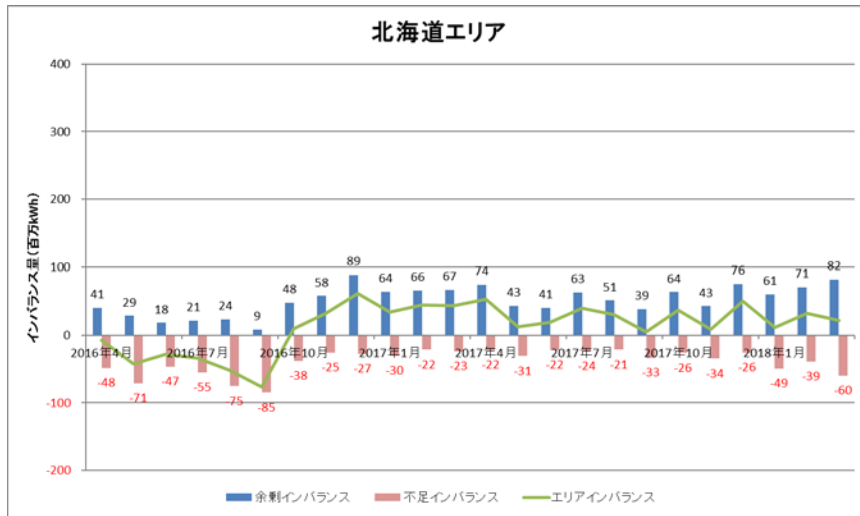
- 引き続き、余剰インバランスの方が多く発生している。



※ 各一般送配電事業者の公表情報より、電力・ガス取引監視等委員会事務局作成
 ※ 余剰インバランスのコマの合計値、又は、不足インバランスのコマの合計値

参考：エリアインバランスの状況（北海道・東北・東京・中部）

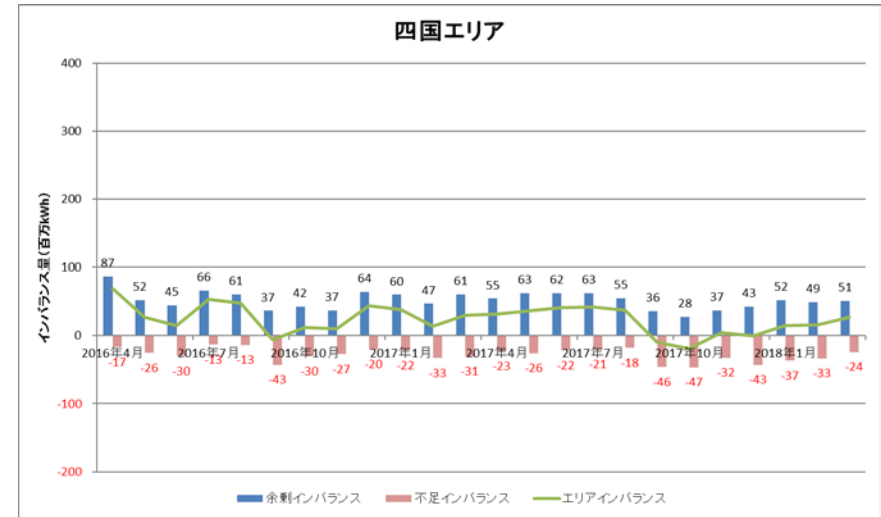
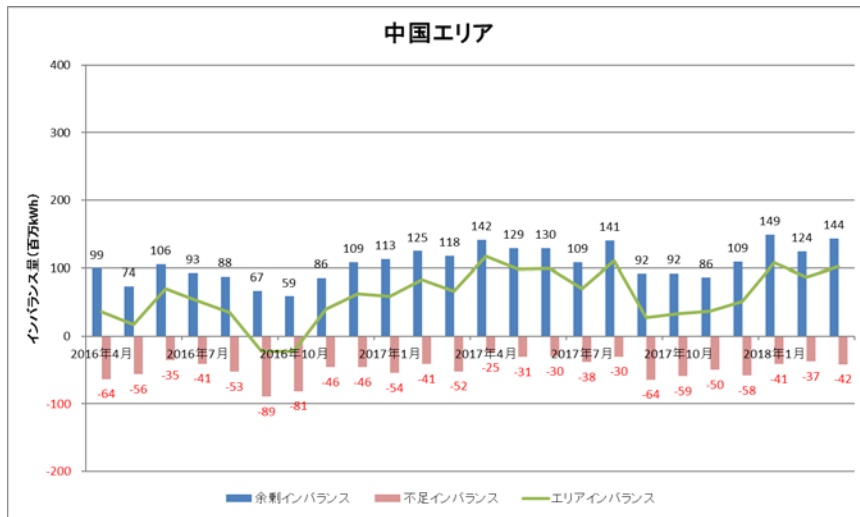
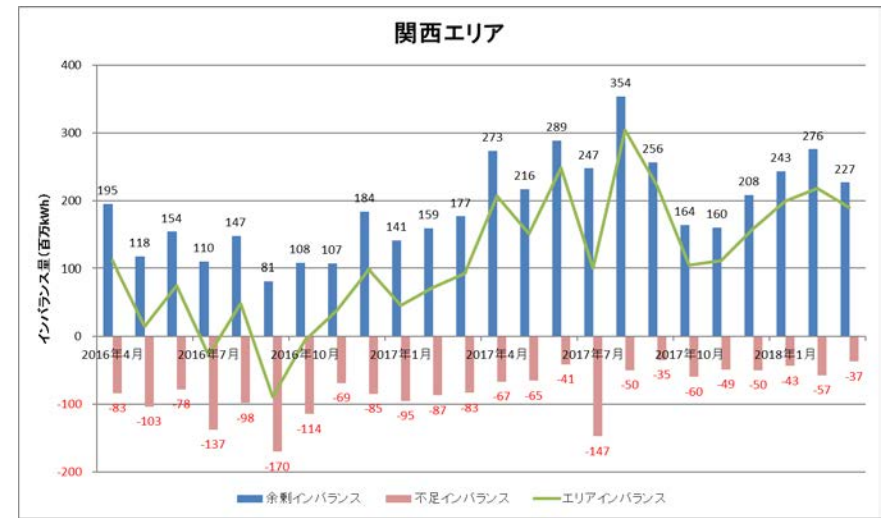
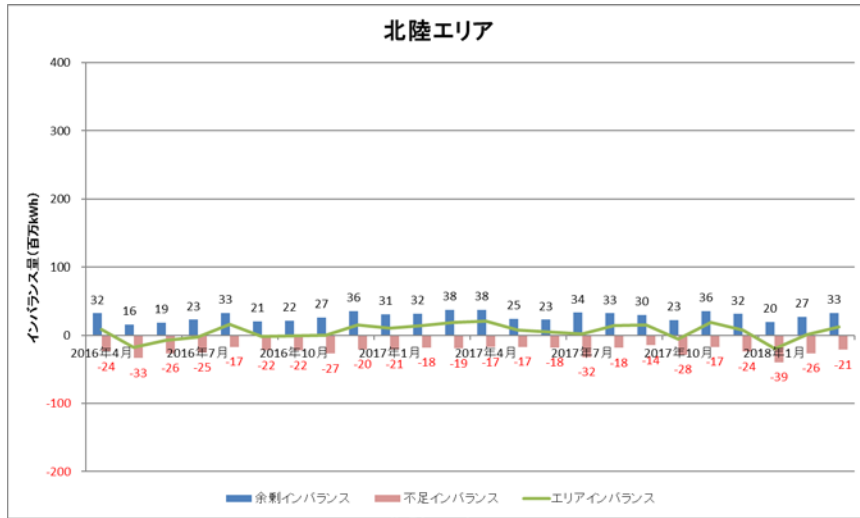
平成28年4月～平成30年3月



※ 各一般送配電事業者の公表情報より、電力・ガス取引監視等委員会事務局作成
 ※ 余剰インバランスのコマの合計値、又は、不足インバランスのコマの合計値

参考：エリアインバランスの状況（北海道・東北・東京・中部）

平成28年4月～平成30年3月

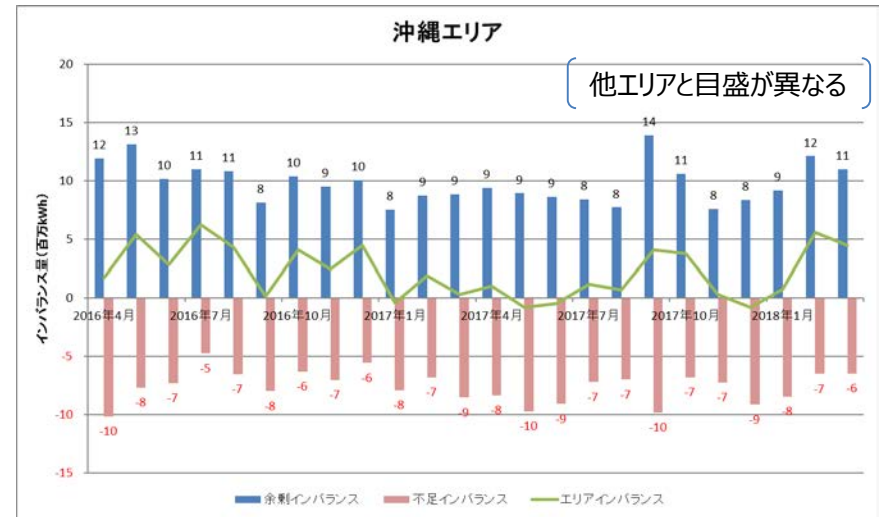
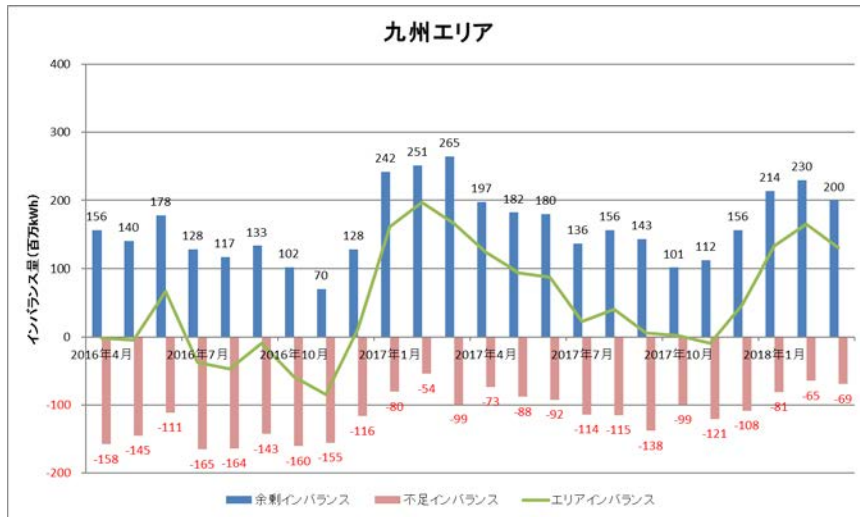


※ 各一般送配電事業者の公表情報より、電力・ガス取引監視等委員会事務局作成

※ 余剰インバランスのコマの合計値、又は、不足インバランスのコマの合計値

参考：エリアインバランスの状況（北海道・東北・東京・中部）

平成28年4月～平成30年3月



※ 各一般送配電事業者の公表情報より、電力・ガス取引監視等委員会事務局作成

※ 余剰インバランスのコマの合計値、又は、不足インバランスのコマの合計値

参考：インバランス料金算定式の見直し後の料金（上位10コマ）

年	月	日	コマ	α 確報値×スポット ・時間前平均価格 (円/kWh)	α 値	インバランス量 (不足) (kWh)	スポット・ 時間前平均価格 (円/kWh)	システムプライス (円/kWh)	時間前市場 平均価格 (円/kWh)
2018年	2月	9日	15	98.93	3.75	2,213,151	26.38	26.40	26.04
2018年	1月	24日	37	73.96	2.27	1,855,417	32.58	32.60	32.48
2018年	2月	5日	37	70.06	1.43	1,224,037	49.13	49.10	49.33
2018年	2月	5日	38	69.94	1.40	1,221,156	49.96	50.00	49.73
2018年	1月	24日	35	62.03	2.06	1,832,249	30.04	30.02	30.14
2018年	1月	24日	38	61.97	1.91	1,665,392	32.48	32.50	32.40
2018年	1月	24日	36	57.99	1.65	1,482,121	35.08	35.10	34.98
2018年	2月	9日	16	57.94	2.00	1,768,471	28.94	28.96	28.56
2018年	2月	7日	15	55.52	1.76	769,539	31.49	31.19	38.53
2018年	2月	8日	15	55.17	1.77	1,446,364	31.10	31.00	34.99

※ J E P Xの公表情報より、電力・ガス取引監視等委員会事務局作成

インバランス精算単価の算定方法

- インバランス精算の単価は、卸電力取引所における市場価格をベースとしつつ、全国大のインバランス発生量が余剰のときは市場価格より低めに、不足のときは市場価格より高めになるような調整項を用いて算定されており、昨年10月に算定方式が一部見直された。

$$\text{インバランス精算単価} = \text{スポット市場価格と時間前市場価格の30分毎の加重平均値} \times \alpha + \beta$$

<2016年4月～2017年9月>

α : 系統全体の需給状況に応じた調整項

β : 各地域ごとの需給調整コストの水準差を反映する調整項

(β = 当該地域の年平均の需給調整コスト - 全国の年平均の需給調整コスト)

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
2016年度	-0.25	-0.29	2.63	1.75	-3.90	1.84	-0.60	-1.76	1.54	-0.97
2017年度	0.23	-0.31	1.22	0.62	-1.97	0.52	-0.05	-0.90	0.19	0.41

<2017年10月～>

α : 変動幅を制限する激変緩和措置の程度を軽減

(算定に用いる入札曲線の両端除外幅を20%から3%に変更)

β : 地域ごとの市場価格差を反映する調整項に変更

(β = 精算月の全コマにおけるエリアプライスとシステムプライスの差分の中央値)

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
2017年10月	3.91	0.00	0.00	-0.36	-0.36	-0.36	-0.36	-0.36	-0.52	0.00